



大分県議会議員 2025年 春号
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

佐藤樹一郎知事「世の中の変化に柔軟に対応できる予算案」

～2025年 大分県議会第1回定例会～ **原田、代表質問に登壇**

本年2月25日(火)から3月27日(木)にかけて、2025年第1回定例会が開催されました。

提案された一般会計当初予算案は、総額7,026億7,700万円で2024年度当初予算と比べて128億6,900万円(1.99%)増。2年ぶりに7千億円を超える過去7番目の規模となっています。

昨秋策定した新長期総合計画(2024～2033年度)の実行元年として、防災対策の強化、人材の確保・育成、子育て支援、教育環境整備などの事業費を盛り込んだ積極型の予算を組んでいます。

【特徴的な新規事業を2・3面に掲載】

歳入は円安で業績好調な大手企業中心に県税収入が増え、過去最高の昨年度比6.8%増の1,469億円。一方、歳出は高齢化の進展などで社会保障関係費は昨年度比3.4%増の940億4,800万円と膨らんでいます。

預金にあたる財政調整用基金からは90億円を取り崩し、残高は2025年度末時点で245億円となる見通し。行革目標の330億円まで回復できるよう決算剰余金の積み立てや、事業執行段階で節約に努めるとしています。

借金にあたる県債残高は、後年度に交付税措置される臨時財政対策債などを除いた実質額で6,242億円。目標値6,500億円を下回り、健全性は概ね確保されていると考えます。

記者会見で佐藤樹一郎知事は「安心・元氣・未来創造の各分野にバランス良く配分し、世の中の変化に柔軟に対応できる予算案とした。」と話しています。



最終日に全て賛成多数で可決されました。

今定例会では、原田は県民クラブを代表して代表質問に登壇しました。

【詳細を4面に掲載】

議員出前講座 in 大分県立南石垣支援学校

開催日：令和7年2月14日(金)
場 所：大分県立南石垣支援学校
(南石垣 校舎)
受講者：高等部2年生 計9名
派遣議員：原田 孝司 議員



今回は、大分県立南石垣支援学校の高等部2年生を対象に講座を開催しました。講師を務めた原田議員は、「県議会の仕組みと役割」や「県議会の役割」などについて説明しました。

学校では、2月17日に生徒・生徒会役員選挙の開催が予定されているため、授業に行くことの大切さについてお話しし、会費に立候補している生徒へ激励の言葉を送りました。

- ◆ 生徒会 ◆
- 議会の仕事について色々知ることができた。
- 質問することができたり、会費の仕組みなどを知ることができ、とても勉強になりました。
- 大分県の税金の使い道で教育費が一番多いことを知りました。
- 結果になった選挙に行きたいと思いました。
- 生徒会員に立候補しているので頑張りたいと思いました。

議員出前講座 in 大分県立南石垣支援学校

大分県議会では、県議会の仕組みや活動内容を知ってもらおうと、議員出前講座を開催しています。県議会広報委員会の委員と地元議員のペアで、講座の開催希望のあった小中学校、高校や支援学校、大学を訪問しています(2024年度は10回開催)。

2月14日(金)、大分県立南石垣支援学校で開催。諸事情により私一人で訪ね、高等部2年生9名のみなさんへ、クイズも取り入れながら県議会の仕組みや活動を知っていただきました。南石垣校では翌週に生徒会役員選挙が行われることを知り、立候補している生徒から公約を聞いたりして楽しい時間となりました。

折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。

